

**製品名: CD1E ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab00488**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 44 kDa; Observed MW: 44 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CD1E
別名	CD1E; T-cell surface glycoprotein CD1e; membrane-associated; hCD1e; R2G1; CD1e
遺伝子 ID	913
SwissProt ID	P15812
免疫原	抗血清はヒト CD1E の C 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 321-370

**背景**

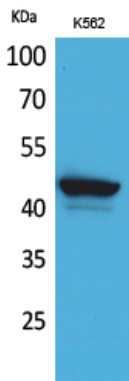
可溶性の T 細胞表面糖タンパク質 CD1e は、ホスファチジルイノシチドやジアシル化スルホ糖脂質などのジアセチル化脂質に結合

し、細胞表面への糖脂質抗原の提示に必要です。

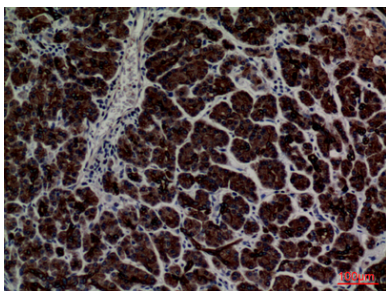
## 研究分野

免疫学

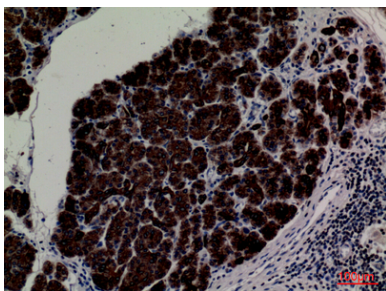
## 画像データ



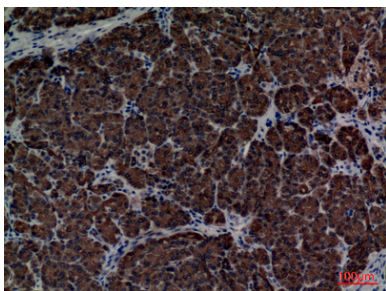
CD1E 抗体を使用した K562 溶解物中の CD1E のウエスタン ブロット分析。



CD1E 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



CD1E 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。



CD1E 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。